

府職労公式LINEアカウント  
お友達追加してね



# 府職の友

FUSYOKU NO TOMO

2092号 2019年7月17日

発行所／大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人／有田 洋明 編集人／小松 康則  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

# 働きやすい職場づくりは まず労働組合への加入から

新しい出会い、  
視野もつながりも広がる！  
(労働組合の主な取り組み)

## 働き方をよくしたい

- 団体交渉 (春と夏、秋季年末)



- 職場活動推進委員会 ● メーデー
- パパ・ママ相談会 ● 女性労働学校

## つながろう

- ボウリング大会
- 若手職員のつどい



## 視野を広げる

- 地方自治研究集会
- ボランティア活動 (西日本豪雨救援ボランティア)



## 平和を守りたい

- 原水爆禁止世界大会

そのほかにも楽しいイベントもいろいろ

多忙な仕事に追われ、忙しさのあまり、いつのまにか人間らしさを失っていたり、健康までもしばまれていたりすることはありませんか？  
仕事や職場の悩みや不満を

口に出したり、共有したりできなくなっていますか？  
労働組合には、職場や職種を超えた「つながり」があります。労働組合に加入し、も

もっと  
つながりませんか

労働組合がない職場や企業では、職場はどんどんブラック化し、誰も声をあげることが

労働組合に加入し、まずは労働組合に加入しましょう！

みんなが働きやすい職場にするために労働組合があります。これまでも、みんなが働き続けられるようさまざまな制度をつくり、拡充してきました。最近では、一時金(ボーナス)引上げ、育児部分休業の小学校3年生まで延長(知事部局、来年4月より)や55セルフドックの職対心(知事部局、今年度より)、不払い残業代の支給(病院労組)などを実現してきました。

労働組合に加入しないという事は「何の権利もいりません、黙って働きます」と宣言しているようなものです。みんなの働きやすさはなかなか目に見えないものはありませんが、みんなの力を合わせて積み重ねていくことによってのみ保障されます。まずは労働組合に加入しましょう！

## 労働組合があるからこそ!!

厳しい状況の中でも  
着実に実現(知事部局)



- ▶ 2013年 給料2.56%引上げ、地域手当10%→11%へ引上げ
- ▶ 2014年 給料カットを阻止！給料1.80%引上げ、一時金(ボーナス)0.15月引上げ
- ▶ 2015年 一時金(ボーナス)0.1月引上げ
- ▶ 2016年 一時金(ボーナス)0.1月引上げ
- ▶ 2017年 青年層の給料2000円引上げ、一時金0.1月引上げ
- ▶ 2018年 一時金(ボーナス)0.05月引上げ

働き続けるための制度を  
つくってきました

- ▶ 1969年 看護師の2人夜勤・月8回以内体制確立
- ▶ 1971年 妊婦の時差通勤、産後特別休暇2週間を実現
- ▶ 1974年 妊娠障がい休暇2週間特別枠の設置
- ▶ 1987年 育児欠勤制度スタート
- ▶ 1992年 全職員対象の育児休業制度へ完全週休2日制実施
- ▶ 1993年 産前産後休暇 産前8週・産後8週に
- ▶ 2002年 子どもの看護休暇実現
- ▶ 2005年 時間外勤務の上限360時間規制
- ▶ 2010年 短期介護休暇実現
- ▶ 2020年 育児部分休業 対象を小学校3年生まで拡大

## 遊歩道

九州北部と四国、中国、近畿が6月26日に梅雨入りしました。統計記録が残る1951年以降、近畿は梅雨入りを特定しなかった1963年を除いて一番遅い梅雨入りです。関東甲信が6月早々に梅雨入りしていたので、なんだか少し取り残された気分です。

いよいよ夏本番の時期が始まります。▼梅雨入りした週は、G20サミットがここ大阪で開催される影響で、休暇を取られた方も多く、会場周辺の欧州庁舎では、やはりいつもより人が少なく感じました。これまでに類をみない3万人規模の警察官が動員され、府内でも大規模な交通規制が行われるなど、府民生活への影響も大きかったと思います。みなさんほどのように感じられたでしょうか▼「令和」という新しい時代が始まって2か月ですが、既に1年は折り返しに入っています。「初春の令月にして……」という万葉集の一節から引用され、「令月」とは「素晴らしい月」という意味があります。「平成」はこれまでに経験のない災害にも見舞われましたが、「令和」は素晴らしい月、素晴らしい時代となるよう、私たちの手でこの時代を鮮やかに彩っていきましょう。(つ)